

Q & A

Q 「してはいけない、だめだよ」と何度も注意するのですが、約束が守れません。
どうしたらいいでしょう？……(2歳児)

A 社会のルールはもちろん、社会的なモラルやマナーなど親には親なりの価値判断や基準があると思います。

ルールや約束事を教えるのはそうした親の価値観を伝えていくことでもあります。しかし、子どもには発達からいって守るのが無理な約束もあります。それは子どもは好奇心のかたまりだからです。

「だめ！」と言われて一回で守れる子どもがいたらその方が驚きではないでしょうか。

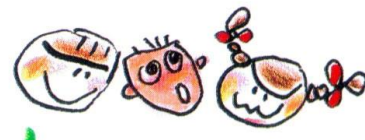
大人でも何度も同じ失敗を繰り返すことがあると思いますし、子どもはそうした経験をたくさん積み重ねて約束事がわかってくるのだと思います。

約束やルールを教えるときは、一方的、絶対的な約束ではなく、子どもができそうな範囲での約束から始めるのがいいでしょう。

それと同時にこれも守るのは自分自身であるという責任の範囲を伝えていくことにもなります。

子どもはこうやって自分で守るべき約束、つまり責任の範囲を広げていくのです。

また、「〇〇したらだめ！」と頭ごなしに言うのではなく、子どもに解るようにはっきりと短く具体的に言うのがコツです。その時は大人も真剣に伝えることが大切です。



Q 解熱剤を使用して熱を下げて登園してもいいのでしょうか

A

熱は体が病原体と闘っているために出るものです。

熱が高くなることで病原体の活動が下がっていきますが、解熱剤を使って熱を下げるのでは一時的な対症療法だと思います。

病気が完全に治っているわけではないので、また熱が上がり子どもの負担にもなりますし、他の子どもにも病気をうつすことにもなってしまいます。

体調の悪い時は子どもの体への配慮や集団生活のマナーとしても無理な登園はさせないようにしましょう。

また病院を受診されたときには、「風邪」ではなく詳しい病名をきちんと聞くことをお勧めします。たとえば、「気管支炎」「胃腸炎」など。

